

プレスリリース

NPO 法人 大気イオン地震予測研究会 e-PISCO

平成 16 年 8 月 26 日

報道関係各位

大気イオン濃度観測点、南淡町(兵庫)と厚木市(神奈川)に新設 ～さらなる観測点拡充に向け 会員募集～

大地震の前に大気中のイオン濃度が上昇することが測定されています(例えば 1995 年兵庫県南部地震の直前など)。我々はこの現象に注目し、大気中のイオン濃度を測定する装置を開発し、これによって地震予知を目指すべく、特定非営利活動法人大気イオン地震予測研究会 e-PISCO を本年 4 月に設立いたしました(理事長：弘原海 清＝大阪市立大学名誉教授・岡山理科大学元教授，副理事長：能美洋介＝岡山理科大学講師)。

これまでは岡山理科大学一箇所のみでイオン濃度の測定を行って参りましたが、今後測定点を全国規模に拡大することを目指しており、各都道府県ごとに 2 箇所、全国で約 100 箇所程度を目標にしています。岡山市、川西市(兵庫)、松本市(長野)につづいて、このほど**兵庫県南淡町および神奈川県厚木市の神奈川工科大学に観測点を設置**しました。今後、測定器を試験運用した後、正式に測定を開始する予定です。

これまでの実績として、一測定点で半径 300km 以内の地震に対応するデータが得られています。今後は多地点で測定し、広域の地震予測の実現を目指します。ここに市民の皆さんにも参画していただき、ともに大気イオンによる地震予測の有効性を検証していきたいと考えています。1 台の測定器の導入、維持管理コストとして、ほぼ 100 名の継続参加会員(会費年 5000 円，学生・65 才以上 3000 円)が必要ですので、関心のある方々の参加をお願いいたします。

報道関係各位には NPO e-PISCO の活動を理解していただき、本件の周知にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

NPO e-PISCO の詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

<http://www.e-pisco.jp/>

本リリースに関するお問い合わせ

NPO e-PISCO 事務局

E-mail npo@e-pisco.jp

Tel 080-5236-6409

大気イオン濃度測定ネットワーク

(2004年8月現在)



新開発のイオン濃度測定器